

なかよし保育園子育て支援センター

★親子教室 (☎96-4551・FAX 22-9881)

- 1歳6カ月～2歳5カ月 18日(火)
- 2歳6カ月以上 25日(火)

★すくすく赤ちゃん

- ネンネ・寝返りグループ 20日(木)
- ハイハイ・ヨチヨチグループ 27日(木)

★ツインズ・デー 14日(金)

いずれも午前10時～11時30分 費用無料、申し込み不要。

※子育て中のみなさんの参加をお待ちしています!

市子育て支援センター

(はまなす保育所内 ☎FAX 24-1260)

★あそびの広場

年齢別グループで、ふれあい遊び・工作などを行います。

指導員と一緒に親子で楽しく遊びませんか。

- 0歳～1歳半 21日(金) ●1歳半～2歳 14日(金)・28日(金)
- 2歳～2歳半 19日(水) ●2歳半～3歳 12日(水)・26日(水)
- 3歳～3歳半 18日(火) ●3歳半以上 11日(火)・25日(火)

※いずれも午前10時～11時 費用無料、申し込み不要。

(受付時間は午前9時30分～9時50分)

★ふれあいサロン

主任児童委員さんといっしょに楽しく遊びましょう。

20日(木) 午前10時30分～11時30分 費用無料、申し込み不要

(受付時間は午前10時～10時20分)

河北子育て支援センター

★あそびのひろば (飯野川保育所内 ☎61-1601・FAX 62-2359)

支援センターにきて、遊びませんか。

毎週月・水・木曜日が支援センター開放日となります。(4月10日(月)から)

利用時間は、午前10時～11時30分

※子育てについての悩み・相談は、電話でも受け付けています。

お気軽にご利用ください。

月曜日～金曜日 午前9時30分～正午 午後1時～5時

土曜日 午前9時30分～正午

★出前保育『子育て広場』

25日(火)午前10時から11時30分までビッグバンで飯野川町区の方を対象に行います。(参加申し込みが必要)保健推進員または子育て支援センターへご連絡ください。

子育てアドバイス 4

楽しい子育てをしましょう!

～桃生地区親と子の遊びの広場へどうぞ～



子育てボランティア 3人のおばちゃん達

みなさん!「桃生地区親と子の遊びの広場出前」って知っていますか?

月1回地区に出向き、0歳児から4歳児までのお子さんと保護者の方を対象に遊びの広場を行っています。手遊びや簡単なおもちゃを作って遊んだり、紙芝居などを親子で楽しめます。ときには食生活改善推進員さんの栄養のあるおいしい手作りおやつも出ます。

最初は集団になじめず、ぐずったり、ただ走り回る子ども、友達ができたりお話しも上手に聞けるようになってきます。赤ちゃんもしっかり見たり聴いたり、五感を働かせ肌で感じ取ることで、親子の手遊びを楽しんでいます。また、保護者の方にとってはいろいろ情報交換やヒントを得られる場になっているようです。

育児中のお母さん方へ一言。子育て中は楽しいことばかりでなく、ゆとりもなく、ときにはいらだつこともあるでしょう。大変さが前面にでてしまうと疲れてしまいますよね。でも、できないとき、わ

河南子育て支援センターパプラ (☎FAX 72-4670)

★わいわいサロン

(2名の指導員と親子で遊びましょう。申し込みは不要です。)

農村環境改善センター 2階(パプラ)午前9時30分～11時30分

- 0,1歳親子 11日(火) 親子リズム遊び
18日(火) 絵本の読み聞かせ
25日(火) スクエアはじまりの会
- 2歳以上親子 13日(木) 絵本の読み聞かせ
20日(木) おばあちゃんの読み聞かせ
27日(木) 制作『ばくばくさくさ』



親子の上靴・飲み物・着替えなどをお持ちください。

★でんわ相談・来所相談……ひとりで悩まないで! (月～金)

★サークル活動支援(水・金曜日)

スクエア『はじまりの会』のご案内

スクエアって何んだらう?

河南地区の子育てに関わる機関が協力しあい、毎月、0歳から幼稚園・保育所に入っていない親子(祖母と孫)を対象に楽しいイベントを企画しています。参加は有料です。

とき 4月25日(火) 午前9時45分受付開始 11時30分終了

ところ 農村環境改善センター(多目的ホール)

内容 かわいい動物とあそぼう!(協賛:子育てサポートリーダー 石川さん・動物愛護センター職員の皆さん)

参加費 1家族 200円 持ち物 上靴

申込方法 パプラに会費を添えて、4月21日(金)まで申し込み。

桃生地区子育て支援 (桃生保健センター ☎76-3360)

★遊びの広場

ところ 桃生保健センター

5日(水)、12日(水)、19日(水)、26日(水)

ところ 桃生文化交流会館(☎76-3418)

1日(土)、8日(土)、15日(土)、22日(土)、29日(土)

※いずれも午前9時30分から

★親と子の遊びの広場出前事業

ところ 桃生文化交流会館 とき 25日(火) 午前9時30分～

★子育て電話相談 3日(月)

対象者 どなたでもご相談できます。

相談内容 子育てに関すること

北上地区ひまわり子育て支援

(北上保健センター ☎67-2301)

★ひまわりキッズ

5日(水)、12日(水)、19日(水)、26日(水) 午前10時～正午

子どもたちのふれあいの機会、お母さん同士の交流の場として、ひまわりキッズを開催します。

今回から保育士を加え、内容も回数も大幅に充実しました。子どもたちと楽しく遊びながら、子育ての悩みや相談にも応じますので、皆さんの参加をお待ちします。

からないことがあったらまず、一歩ひいてみてその後でまた一歩進んでみましょう!それでもダメならそんなときこそ親と子の遊びの広場出前へどうぞ!いろいろなお話を聞き解決の入り口が見つかるかもよ。

(お母さん同士、先輩お母さん、おばあさん、児童民生委員、食生活改善推進員、保育士、保健師、栄養士の皆さんから…)

お母さんが子育ての楽しさを実感すれば、子どもも安心し楽しく幸せです。楽しい子育てのお手伝いできれば、と私たちも一緒に楽しませてもらっています。

子育ては楽しくたのしくタノシク!

表紙から

須江獅子舞は、須江小学校の旧木造校舎を建築した気仙地方の大工衆が須江地区に伝えたのが始まりと言われます。学校では、毎年3月初めに6年生から5年生への伝承式が行われています。㊟

編集後記

あつという間に1年がすぎました。寒い冬が終わり、暖かい春がそこまでやってきています。毎年なにかと節目となるこの季節ですが、心機一転新たな目標に向かってがんばっていきましょうという気持ちで沸いてきます。さて、「市報いしのまき」2年目のスタートです!新年度もよろしく願います。㊟

石巻市の人口と世帯数

平成18年3月1日現在
()内は昨年同月比

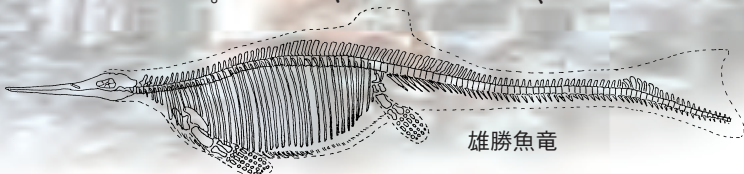
♂	82,209人(-1,040人)	♀	87,801人(-951人)
♂♀	170,010人(-1,991人)	🏠	59,180世帯(+256世帯)

雄勝町の北浦海岸は、化石の宝庫

石巻市文化財保護委員 木村 満

雄勝町の地層は、古生代二疊紀から中生代の三疊紀(今からおおよそ2億5千万年前〜2億1200万年前)にかけて、海岸部に六つの層が、西から東に順序良く並んで見られます。特に、石の宝庫でもある名振地区小浜では、蛇体石(学名ミケリニヤ サンゴの化石 叶倉層、海ユリ、二枚貝、巻貝、オウム貝、三葉虫、紡錘虫等、多くの化石が大量に、しかも間近に見られます。また、名振の八景島は、我が国における最北端の暖地性植物の原生林で、国の天然記念物に指定されています。島の北側から林に入ると「ここが島なのか。」と思わせるような、タブの木やユズリ葉等が生い繁る、うっそうとした原生林が広がっています。この八景島に叶倉層(大八景島層)が見られ、一部には化石も観察することができます。

二〇年ほど前(昭和五七年 一九八二年)、北海道大学地質鉱物学教室の教授と研究生が、荒浜の甲島で魚竜の化石を発見したので、発掘に協力してもらいたいと言われ、発掘許可が下りた昭和五七年の七月一日から発掘を開始することにしました。そこは大沢層と風越層の境目で、二〇メートルはあろうかと思われる石畳のような平面に、良い状態で魚竜の化石が散乱していました。その上に、ペンキで基盤の目のように基準線を描き、番号をつけ、配列しやすくして(グリッド)、テコやタガネ等で発掘を始め



雄勝魚竜

雄勝町の地層

新 ↑	伊里前層	いわゆる「稲井石」と呼ばれる頁岩
	風越層	コンクリート等に用いられる「パラス石」
	大沢層	女川町方面で産する粘板岩
	平磯層	俗に「マ石」と称する砂岩
古	登米層	玄昌石(粘板岩)
	叶倉層	名振小浜の海岸に見られる石灰岩および頁岩

ました。すると、その下からもう一体の化石が出てきました。そこで、ポータブルの電動カッターや削岩機等を使い、周囲を掘り、四日ほどかかって、合計三休分を掘り上げ、雄勝町公民館に運びました。その時、大学側から「化石はクリーニングして、研究が終われば、一体は雄勝に戻す。」というお話がありました。しかし、この作業には、十年以上もかかるというものでした。それから五ヶ月ほどして、今度は国立博物館にお願いされて、同じ魚竜の化石を三休ほど発掘しました。

その後、日本地学研究会の発表(箕浦他 一九九三 地学研究四二―四)によれば、全国的に有名な歌津魚竜、

そして雄勝から発掘されたウタツザウルス六体の、全ての固体が同一種とすれば、早期三疊紀の魚竜としては、尾の先端部を除いて、ほぼ全骨格を明らかにできる、世界で最初の標本ということになります。また、このことについては、英国の科学雑誌『ネイチャー』誌等にも取り上げられております。

このような貴重な化石標本ですが、北海道大学の論文でも、そのうちの一体は、未だ旧雄勝町から借り受けたままであるということになっており、一日も早くふるさとに戻ってくることを願ってやみません。

創作表具

小さな美術館

6



佐藤 幸恵さん (前谷地駅前)

写真は、昨年十一月に遊楽館で開催された県民文化祭に出展した創作表具です。

私の作品づくりは、書を飾る掛け軸を作りたいと表具教室に通ったことが始まりです。以来、和服や帯、風呂敷などタンヌに眠っていたものを組み合わせて表装に使い、和のやさしさ、美しさを求めて軸物、屏風、几帳、置物などを創作するようになりました。

作品のイメージを練り上げるには時間が掛かりますが、後は糊で張っていく作業ですので比較的簡単です。捨てればゴミですが、お世話になった着物たちに今一度目の目を見せられる喜びを感じ、世界に二つと無い作品を生み出すのは魅力です。

現在は、創作活動の合間に無料体験の教室を開いています。仲間たちと作品づくりをしながら楽しく過ごすひとときに幸せを感じています。皆さんも初めてみませんか。

